巻頭特集

住んで好きになって熊谷

Live Love KUMAGAYA

ウィズコロナで地方暮らしが再注目される中、各自治体が定住プロモートをプッシュしている。
今回NAOZANEでは、他地域から熊谷へ移住してきた3名にインタビュー。市の移住・定住プロモートと併せて紹介する2ページ。

張替さん	依田さん	木藤さん
女性・30代・東京出身・定住1年目	女性・40代・北海道出身・定住8年目	男性・40代・東京出身・定住19年目

熊谷の気候・風土

「夫の転勤が決まったとき、やはり暑さが心配でした。熊谷に来て出会ったママ友にも『夏、暑いよ～』と言われて。実際、暑さの種類が違いました。それから、乾燥がすごい。こっちに来て初めて加湿器を買いました。でも、洗濯物がよく乾きます」（張替さん）

「夏は死ぬほど暑いが、そのお陰でビールも死ぬほど美味い」「子供が小さい時に市民プールに行って、ひどい日焼けに。でも、いわ瀬のかき氷を食べて帰って夏を満喫」（木藤さん）

暑いまち熊谷。快晴日数は日本有数。地下水が豊富でそのおいしい水を使ったかき氷「雪くま」は、市内外から愛されている。また良質な水で育った小麦で作る「熊谷うどん」はワシワシとしたコシの強さが特徴だ。

「夏よりも冬のからっ風の強さと冷たさは、道産子の私でも正直キツイ（笑）」（依田さん）

と、道産子も驚かせる極端な気候。

「でも、それも住めば都で、今では慣れて平気です。四季を色濃くハッキリと感じられるからそれもまた好きです」（依田さん）

荒川と利根川の水に恵まれた肥沃な土地は、栄養豊富な地元野菜を生む。農産物直売所は市内に6か所。

「台風19号で荒川の水位が上がり、氾濫寸前だった時はものすごい恐怖だった。だけど、避難所で一致団結して避難の支援をしたのも思い出のひとつです」（木藤さん）

そんな木藤さんは、万平公園にある史跡を地域住民と共に研究し、荒川の氾濫との歴史を学んだそう。

「春には桜と菜の花の見事なコラボレーションが圧巻。夏の花火大会は、群馬から見に来た親戚が度肝抜くくらい間近で見られる花火が大迫力！」（木藤さん）

熊谷で子育て

イオン熊谷3階0・1・2・3さいくまっぺ広場にて取材に応じてくれた張替さん。息子の絢斗さん（2歳）はスタッフとの手遊びや歌を楽しんでいた。

「熊谷は子育て支援拠点が多い印象です」

張替さんは昨年3月に熊谷へ。広場を知った経緯を聞くと、

「市役所にパパ・ママ応援ショップ優待カードを貰いに行ったときに『茨城から越して来た』と言ったらすぐに紹介してもらえました。子育て関連の連携や、ネットワークがすごいと思う」

同じく2歳の息子のママ、依田さんも

「子育て支援センターが各所にあり、子育ての悩みなどを相談できる場所が沢山あるのはすごく有り難い」

子育て支援拠点は市内に19か所。

また、民間団体の活躍も大きな魅力のひとつだ。

「熊子連（熊谷市子ども会育成連絡協議会）の活動が活発。かるた大会や球技大会、タグラグビーや絵画展など、子どもが頑張れる場、保護者も地域の人も楽しく応援できる場が沢山ある。中学生がジュニアリーダーとして、小学生のサポート役を担っているのも素晴らしい。地域と子どもを愛する人がたくさんいる」（木藤さん）

ひろびろ、たくさんある公園も話題にのぼった。

「公園がたくさんあるのも嬉しいです。ベビーカーを押して歩きで行くような公園から、大きな公園まで」（張替さん）

「子どもとのお散歩コースが充実してます。スポーツ文化公園やさくら運動公園、中央公園などによく行きます。でも近くの児童公園は遊具が古く、黄色の危険テープがぐるぐる巻きにされていて、ぜひ、遊具を新しくして欲しい。切実に！」（依田さん）

熊谷推しポイント

「熱い！とにかくアツイ！熊谷のために熱い想いで動いている人がいっぱい。すごく素敵なことだなあ～と思う。あと、祭り好きの人も多い！うちわ祭のグルーヴ感が凄い!!」（依田さん）

移ってきた人たちの声は住んでいるものには嬉しいものだ。

「古くから住んでいる人、新しく越してきた人が協力し、融合している」「東京から母も呼んでしまいました。母もうちのすぐ近くに住んでいます」（木藤さん）

交通の利便性に加え、ショッピング施設から地元の店まで充実している便利さと楽しさもまちの暮らしの大きな魅力。

「新幹線停車駅というアクセスの抜群さ。東京駅まで39分」

「アズ、ティアラ、ニットモールと商業施設が駅前に揃っていて暮らしやすい。見たい映画を見たい時に見られるのは幸せです」「美味しい素敵なコーヒー屋さんがたくさんある。Naked Roasters coffeeさん、Akimoto Coffee Roastersさん…」（木藤さん）

「居心地の良いカフェが沢山ある。熊谷は『Ｃａｆｅのまち』でもあると思う。休日のカフェ巡りが、楽しみやリフレッシュのひとつ！」（依田さん）

「お店が大小いっぱいあって困らないです」「住みやすくて、ずっと住み続けてる人が多いな～という印象」（張替さん）

熊谷のいちばんいいところ

ラグビーW杯2019開催都市として「ラグビータウンくまがや」を発信。大会後もラグビー場では日本代表選手やトップリーグの試合が数多く開催され、スポーツを観戦・実践しやすい環境が整っている。

「『スポーツが盛んなまち』！ラグビー、サッカー、野球など、地元一体となって、こんなにも身近にプロスポーツが楽しめる街があるでしょうか？週末は、スポーツ観戦を楽しんだり、選手を応援する楽しみがあるなんてワクワクする！夢がある！将来、こどもたちがスポーツ選手になれるかもしれない街!!」（依田さん）

熱意たっぷり、熊谷愛が伝わってくる。ダンス講師の依田さんは熊谷にチアダンススクールラポラを開校している。

「子育て環境が整っている。安心して子育てできる。子どもがいる人がここに来てもすぐに馴染めると思う」（張替さん）

「雪も少なく、災害少なく、人々が穏やかでのんびりしていて優しい」（木藤さん）

住めばみやこ、住めば熊谷。わたしたちは定住する人、待ってます。

アルカス熊谷の応援にラグビー観戦へ訪れた依田さんファミリー

森林公園での張替さんファミリー

熊子連のかるた大会に向けて特訓する子供たちと運営を手伝うOBら

熊谷市のいいところ

出典：熊谷市定住促進サイト「熊谷で暮らす」

① ひろびろ、のびのび
1住宅当たりの床面積の平均は、100.21平方メートル。しかも広々、庭付きです。

② いつもいい天気
熊谷の快晴日数は、日本有数。お出かけも、洗濯も気持ちよくできます！

③ よく遊び、すこやかに
公園も広々、たくさんあります。1人当たりの公園面積は、23.7㎡（東京は9.5㎡）。市公園は、77か所あります。

④ 新鮮野菜をめしあがれ
栄養豊富な地元野菜が安く手に入ります。農産物直売所は、市内に6か所。

比べてみると

	家賃	通勤時間	食費
熊谷で暮らす	7万4466円	60分＋α（片道）、新幹線で39分＋α（片道）	6万8507円
東京で暮らす	15万7644円	45分（都内在住者平均：片道）	8万1466円

各制度について

熊谷市に転入した方	●おいでよ熊谷!新幹線らく賃通勤事業	対　象：40歳未満で市内に転入し、住宅を購入（または新築）し、新幹線通勤をしている方 補助額：新幹線定期券購入費の一部（最大2万円/月・最長2年間）
	●定住人口増加のための固定資産税等の課税免除	対　象：40歳未満で市内に転入し、住宅を購入（または新築）した方 減免額：住宅部分の固定資産税等の免除
住宅を購入、またはリフォームした方	●3世代ふれあい家族住宅取得等応援事業	対　象：住宅購入などをし、3世代以上の家族で同居近居をされる方 補助額：上限25万円（商品券※）
	●勤労者住宅資金賃付及び利子補助制度	対　象：新築・増改築・リフォーム工事などを検討している方
	●住宅リフォーム資金補助制度	対　象：市内業者による20万円以上の工事 補助額：補助対象額の5%（上限10万円・商品券※）
新生活を始める方	●大好き熊谷!新幹線らく賃通勤事業	対　象：令和3年4月1日以降に就職し、新幹線定期券を利用し通勤する30歳未満の方 補助額：新幹線定期券購入費の一部（最大2万円/月・最長7年間）
	●結婚新生活支援事業	対　象：夫婦ともに40歳未満の新婚世帯（所得制限あり） 補助額：引っ越し費用の一部（上限30万円）
子育て支援	●こども医療費の助成	0歳から高校3年生までの医療費の助成
	●地域子育て支援拠点	熊谷市内19か所に地域子育て支援拠点を設置
	●ファミリーサポートセンター	育児に協力できる人からの子育て援助
	●誕生祝金支給事業	対　象：令和3年4月1日以降に出生した子どもの保護者 支給額：3万円
	●第3子以降の学校給食費無償化	小・中学校に通う第3子以降の子どもの学校給食費の無償化
	●奨学金利子の支援	対　象：大学等卒業後に奨学金を返済する40歳未満の方 補助額：上限3万円/年・最長10年

※商品券とは、熊谷市内で使用可能な「まち元気」熊谷市商品券です。